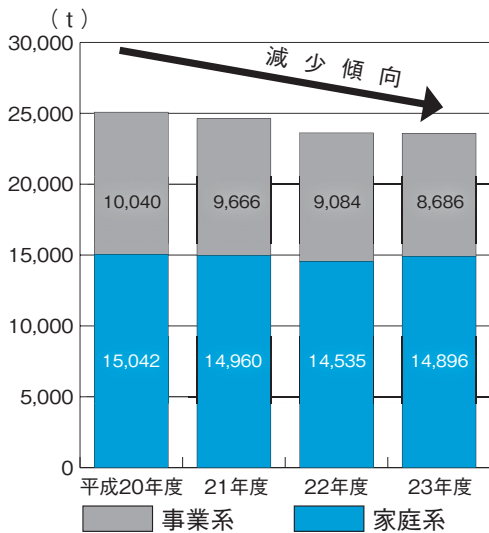


●年度別・種類別のごみ総排出量

(単位：t)



		20年度	21年度	22年度	23年度
可燃ごみ	家庭系	12,455	12,345	12,113	12,235
	事業系	9,562	9,288	8,772	8,432
不燃ごみ	家庭系	516	542	469	498
	事業系	74	63	34	26
粗大ごみ	家庭系	283	349	309	328
	事業系	73	55	48	43
資源ごみ	家庭系	1,788	1,724	1,644	1,835
	事業系	331	260	230	185
計	家庭系	15,042	14,960	14,535	14,896
	事業系	10,040	9,666	9,084	8,686
合計		25,082	24,626	23,619	23,582

家庭系とは…住民生活に伴って各家庭から排出される「家庭系ごみ」を指します。
 事業系とは…事業活動に伴って事業所から排出される「事業系一般廃棄物(事業系ごみ)」を指します。



▲市内伝法寺地区にあるごみ処理施設。毎日、多くのごみが処理されています。

●市民1人当たりのごみ排出量も減少傾向

市の平成23年度のごみの排出量は約23,582トン。これは、市民1人当たり年間約364キログラム(1日当たり約997グラム)のごみを排出していることとなります。
 平成22年度と比べると、総量で約37トン、1人1日当たり約9グラムの減量となりました。

さらなる「ごみ」減量化に取り組み

市では、平成22年4月に「ごみの減量化等に向けた行動計画」を策定し、ごみ減量化に取り組んでいます。23年度までのごみ搬出実績によると、市民の皆さんのご協力により、ごみの減量化が着実に進んでいます。今後も、さらなるごみの減量化にご協力くださいますようお願いいたします。

問生活環境課 ☎6726

ごみ減量のポイント!

〜家庭でできる身近な取り組み〜

まずは水切りから始めましょう!

ごみの水分を減らせると…
 ▼ごみの重さが減るので、市民の皆さんが負担するごみ処理費用が軽減されます。
 ▼ごみの重さが減る分、軽くなるので、ごみ収集車の燃費が良くなり、二酸化炭素が削減されます。



▼ごみを燃やすエネルギーが減り、二酸化炭素が削減されます。



▲▶ごみ処理施設には多くのごみが搬入されています。ごみの処理には多額の費用がかかります。



●捨てる前に「ひとしほり」の習慣を!

生ごみを出す前に、ギュッとひとしほりをする習慣をつけましょう。減量の効果は絶大です。ひとしほりをするこ



よって、生ごみの量が減るので、ごみ袋の使用量も減らせます。また、水分が取り除かれることによって、悪臭や腐敗防止の効果があります。

身近な物で便利な水切り!!

●使わなくなったCDでギュッとひとしほり



●切り取ったペットボトルの先端部でギュッとひとしほり



●買い物では買い過ぎない!

買い過ぎない!

冷蔵庫の中を定期的にチェックし、消費期限切れの食材が出ないようにしましょう。

また、買い物では買い過ぎないように心掛きましょう。

